

「使える製品」「使えない製品」

洗面所はどこにある

洗面という視点から高齢者住宅をみると二つのタイプに分かれる。一つはワンルームマンション系で、便所+洗面で一部屋をとる。浴室がある場合はその部屋は脱衣室を兼ねることになる。もう一つはユニット型特養タイプで、居室の中に洗面台がある。(図1)

高齢者住宅の洗面では、洗面所で行われる機能をどの程度カバーするかは、その事業内容によって大幅に変わってくる。車いす対応の洗面台を設置しておけばよいという発想では、これからの施設間競争には勝ち抜けない。ワンルームマンション系かユニット型特養系かというプラ

図1 プランによる洗面台の違い



↑ ワンルーム
マンション
タイプ
← ユニット
特養タイプ

ンの検討とともに、洗面台そのものもどれを選ぶかが大きな問題となる。

高齢者住宅の需要が増えるとともに、高齢者用の洗面台がメーカーから新しいコンセプトで続々と提案されてきている。

高齢者集合住宅向けに開発された洗面化粧台「アクアハート洗面」(図2)

車いす対応の洗面はこれまで、戸建て市場向けに開発された洗面化粧台と、特養などの施設の共用洗面に使われたカウンター式洗面台があった。高齢者専用賃貸住宅のような高齢者集合住宅を対象とした製品は開発されていなかった。ところが2009年4月1日に発売されたパナソニックの「アクアハート洗面」は高齢者

集合住宅を対象を絞って発売された最初の製品である。これほど対象を絞り込んでもコンセプトをはっきりさせた製品は他社では見られない。他社との違いは3点ある。

一幅を高齢者集合住宅のスペースを考慮し750ミリのみとしている。

二基本モデルの鏡が収納付となっている。三サイズの限定などによりコストダウンを実現し、他社より安い価格を実現している。

一歩先に行く「座ってらくらくシリーズ」(図3)

高齢者の洗面台イコール車いす対応という概念を取り省いた製品も発売されている。TOTOの「座ってらくらくシリーズ」は一般の家庭用洗面台が必要になれば車いすにも対応できる製品である。これまでに、洗面台を上下して車いすに対応するという発想の製品はあったが、この「座

図3 座ってらくらくシリーズ



図2 メーカー別車椅子対応化粧洗面台比較表

メーカー名	パナソニック電気 株式会社	TOTO 株式会社	株式会社 INAX
商品名	アクアハート洗面	フェアリーシリーズ (車椅子対応)	DO CARE COUNTER
画像			
図面			
サイズ	W750×D500×H750	W750×D580×H750	W750×D550×H750
カウンター	・洗面ボール一体型 ・ポリエステル系人造大理石製 ・スーパーホワイト ・ボール容量 5.5L ・ボール深さ 100mm	・ボール容量 8.0L	
シャワー水栓	○	○	○
自動水洗	×	×	○
目皿	ポップアップ排水栓 (ハアークッチャー付)	目皿 (ハアークッチャー付)	
収納	○	○ (収納タイプ: 77,900円)	?
くもり止め	くもりシット加工	くもり止めヒーター付	くもり止めヒーター付
その他			W900以上は手すり設置可能
定価	¥196,770円 (税別)	¥220,000円 (税別)	¥246,000円 (税別)
内訳	・カウンター (VAS200107N) 70,875円 ・パネルセット (ハーフニースペース) (VAS200202N) 50,925円 ・ミラーキャビネット (VAS200301N) 41,895円 ・マルチシングルレバー洗面混合水栓 (壁給水用、アングル型止水栓付) 33,075円	・洗髪・洗面化粧台 (LDST750AS) 160,700円 ・化粧鏡 (LMJ750HF) 59,300円	・化粧台本体 (シングルレバー水栓中央付) (DCO-755S (Y) /GD2W) 195,000円 ・ミラーキャビネット (照明付) (MCR-751CH) 51,000円

「つてらくらくシリーズ」は、設置高さ75センチにすれば、立つても、座つても、車椅子でも対応できるデザインとなっている。洗面ボールが一般のものに比べて、薄型なので、可能となる。さらに立ち上がるるときカウンターに体重をかけても大丈夫な構造であり、高齢者にとって使いやすいものとなっている。

車いす対応の洗面化粧台はメーカーによって細部に様々な違いがある。カウンター洗面ボール

パナソニックは高齢者集合住宅向け専用の製品であるので、スペースを取らないため奥行きを500ミリに抑えている。洗面ボールがカウンターと一体形状になっているのは、社とも同じ。

INAXの製品は幅900以上のカウンターには、手すりが後付けできる。これは体の状態によっては便利な機能である。パナソニックはカウンター手前は握りやすい形状で車いす使用時の引き寄せ安さを考慮している。

水洗

社ともシャワー水洗を使用しているが、自動水洗を選択できるのはINAXのみ。

TOTO・INAXは幅900以上のカウンターには水洗のレバー位置を手間に設置することも可能。

目皿

TOTOはゴミをキャッチする目皿が付いている。これは洗面化粧台を簡単なキッチン代りに使うときは必須の装備となる。

進んだ洗面化粧台

このように、高齢者住宅の洗面設備はこの一年随分すすんだ状態となった。体が不自由になった方でも、洗面、化粧に十分使えるようになった。その中でも細かいところはメーカーによって違っていることは、製品採用の参考としてほしい。

製品採用の新しい展開

TOTO・INAXの製品が、病院や特養などの施設も高齢者住宅や戸建て住宅の住宅向け両方に対応できることを特色としているのに対し、パナソニックが高齢者住宅に特化した低価格の製品を発売したことは注目しなければならない。高齢者事業者にとっても製品採用の新しい世界の展開を予想させるものである。

砂山憲一

すなやま・けんいち

1972年 SANTI-LUC DE TOURNAI 建築学校 (ベルギー) 留学、1975年 京都大学工学部建築系学科修士課程修了、1981年 株式会社建築設計設立。

主な著書に「医療・介護・建築関係者のための高齢者の住まい事業企画の手引き」(学芸出版社)。最近の執筆に日経ヘルスケア別冊 拡大するシニアリビングVOL3「あなたの病院は増改築できますか? 建築家から見た療養病床転換の問題点」、「病医院のための高齢者住宅開設マニュアル」【老人保健施設部分担当】(ともに日経BP社)

